

酒器の玉手箱

ー 日本のお酒の使い方はこんなに面白いー

日時 2024年1月14日(日)
午後2時～3時(開場午後1時40分)

会場 愛知県図書館 1階エントランス^{ヨッテコ}

定員 50名(当日先着順・申込不要)

講師

おおつき のりこ
大槻 倫子 氏

愛知県陶磁美術館 学芸課長

講師プロフィール

京都市生まれ。滋賀県立陶芸の森学芸員を経て2020年より愛知県陶磁美術館学芸課長。専門は日本近世から近代の陶磁史、陶磁器デザイン史。著書に『窯別ガイド 日本のやきもの信楽・伊賀』(淡交社、2003年)、共著に『東京府のマボロシ 失われた文化、味わい、価値観の再発見』(社会評論社、2014年)、『終わり切れない「近代」 八木一夫とオブジェ焼』(美学出版、2015年)などがある。



内容

古来よりお酒は神への捧げものとして非日常的な飲み物でした。しかし江戸時代になると庶民層にまで日常の飲酒習慣が広がります。酒器の需要は高まり、日本各地の窯で工夫をこらしたうつわが生まれるようになりました。やきもの酒器の歴史を紐解いてみると、日本人のユーモアあふれる〈うつわ使い〉のセンスが見えてきます。美しいだけじゃない、からくり酒器、可愛い酒器、教訓を伝える酒器など、面白きやきもの酒器の世界をご紹介します。

問合せ先 愛知芸術文化センター愛知県図書館 総務課企画グループ
電話 052-212-2323 FAX052-212-3674
〒460-0001 名古屋市中区三の丸1丁目9-3

連携展示のご案内
裏面もチェック!

文化芸術に関する連続講座 2023 連携展示

お酒とつつわの本

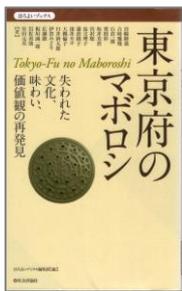
盃、徳利など、お酒にまつわるつつわについての図書や、お酒についての図書を中心に集めました。ぜひご覧ください。



1.



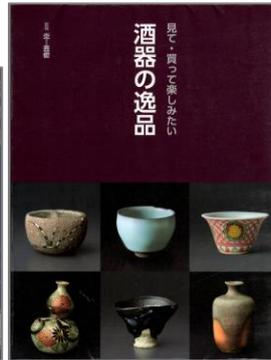
2.



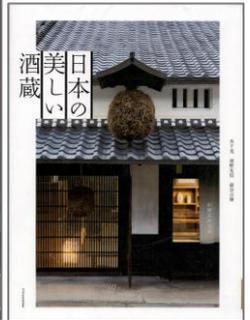
3.



4.



5.



6.

展示予定図書の一部（地域資料は貸出不可）：1.『企画展「酒のうつわ その美、こだわり...」』/2.『酒宴のやきもの』/3.『東京府のマボロシ 失われた文化、味わい、価値観の再発見』/4.『盃物語』/5.『酒器の逸品 見て・買って楽しみたい』/6.『日本の美しい酒蔵』

展示期間 2023年12月15日(金)～2024年2月7日(水)

展示場所 愛知県図書館 1階エントランスYotteko

愛知県陶磁美術館（瀬戸市）は、2023年6月19日から2025年3月31日まで改修工事のため休館しています。休館中も、豊川市桜ヶ丘ミュージアムや愛知県美術館など県内文化施設での出張展示や出張陶芸体験など様々な取組をしています。



【交通案内】

【地下鉄】

- 鶴舞線 または 桜通線「丸の内」下車 8番出口
- ・鶴舞線「丸の内」駅から徒歩約8分
- ・桜通線「丸の内」駅から徒歩約15分

【市バス】

- 名古屋駅バス停 8番のりば
- 幹名駅 1・名駅 14
- 「愛知県図書館」下車 徒歩3分
- 【なごや観光ルートバス「メーグル」】
- 「四間道」下車 徒歩3分

【開館時間・休館日】

午前10時～午後8時（土・日・祝日は午後6時まで）
休館日：月曜日、毎月第2木曜日（ただし、その日が祝日にあたるときは開館し、次の平日に休館します。）、年末年始、館内整理のための休館